科目ナンバリング	U-LAS01 10007 LJ38				
授業科目名 <英訳>	西洋史Ⅰ Western History I		担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　福元　健之	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・前期	曜時限	火5/木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

歴史知は、現代世界が抱える諸問題をよりよく理解するうえで欠かせないのみならず、個々人を現代世界とつなぐ役割を果たす。本講義では、「世界の構造化」、「国民という難問」、「記憶の戦争」のテーマごとに西洋世界の近現代史を重層的に論じる。

このことを通じて、一九・二〇世紀を中心に、様々な差別の生成・展開や、ナショナリズムの成立と伝播、歴史認識をめぐる対立と和解について学び、いま私たちが生きている世界がどのようにして成立したのかを論理的に考える視座に立てるようになると同時に、一方的に支配や抑圧が広がったのではなく、いかにしてそれへの抵抗や自立の動きも生まれたのかも考察できるようになる。暗記ではない歴史学の奥深さや意義について知ってもらうことが、本講義の目的である。

[到達目標]

西洋近現代史の基礎知識を学ぶことを通じて、外国の文化や歴史に開かれた態度を取れるようになるとともに、歴史学的視座にたって現代世界の問題を考察できるようになる。

[授業計画と内容]

授業回数はフィードバックを含めて全15回とする。

１．イントロダクション

【A. 世界の構造化】
２．大西洋三角貿易
３．人権の創造
４．産業革命
５．帝国と植民地
６．帝国と国連

【B. 国民という難問】
７．フランス革命
８．「歴史なき民」
９．労働者インターナショナル
１０．第一次世界大戦

【C. 記憶の戦争】
１１．ロシア革命
１２．ナチズム
１３．ホロコースト
１４．歴史と記憶

１５．フィードバック

西洋史Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

西洋史Ⅰ(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末筆記試験（100点）で評価する。論述形式で、講義内容の理解や、設問に対する解答の論理性および独創性を評価する。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習・復習は、授業で配布した資料を利用するとよい。授業中に紹介する文献や、図書館で関連する文献を自分でみつけ、読んでみることで、理解をさらに深めることができる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]